

みいよく通信

魅力協
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

「魅力ある学校づくり地域協議会情報交換会及び講演会」の報告について

- ・ 標記研修会が、平成30年1月18日（木）に宇都宮市役所14階大会議室で、89名の関係者の方の参加を得て開催されました。
- ・ はじめに行政説明、次に講演、最後に情報交換会という3部構成で行われ、講師の井上尚子氏から、国が推奨しているコミュニティ・スクールの概要や先進的な杉並区の取組事例などについて学びました。後半は前半の行政説明や講演を踏まえ、グループ別情報交換会を行い、学校と地域の協働のあり方などについて活発に話し合いました。



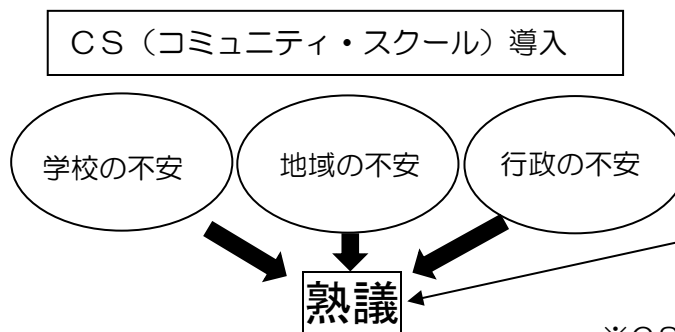
講演 「地域とともにある学校づくりの更なる充実に向けて

～コミュニティ・スクールによる学校と地域の連携・協働の推進について～

文部科学省コミュニティ・スクール推進員(CSマイスター)

杉並区立天沼小学校学校運営協議会委員(会長職務代理者)

井上 尚子 氏



多くの当事者による「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決を目指す対話のこと。

**地域とともにある学校運営には
欠かせない最大のポイント！**

※CS導入は、目的ではなく手段です。

焦らず一歩ずつ

CS 導入→創生期→確立期→成長期→持続的な組織運営（地域とともにある学校）へ

(杉並区立天沼小学校学校運営協議会の活動実践より)

- ・ 教職員とCS委員の交流機会を確保。「教育課程」「校務分掌」など学校独特の言葉を理解することから始めた。個別に直接話を聞く機会も設定。(学力→教務主任, 体力→体育主任, 生活→生活指導主任, 健康→養護教諭, 研究→研究主任など)
- ・ サマーワークショップ【夏休み最後の日(教職員全員出勤日)の午後に、地域・保護者・教員による熟議(懇話会)】を実施した。テーマを決めてじっくりと話し合い、お互いの理解を深めた。
- ・ 定期的に学校から発行される学校だよりの中に、小さなスペースを設け、毎回、学校運営協議会の活動等を伝える内容を掲載した。
- ・ 双方向で共有することが協働。先生からの声⇄地域からの声の繰り返しから生まれた事例として、「朝遊び」の見守り支援、新体力テストの測定補助、商店街の職場体験、地域の昔を知る会など。

(H26杉並区教育委員会地域運営学校成果検証調査報告書より)

- ・ CS導入校の教員は、自校児童・生徒を肯定的に評価する割合が高く、将来の勤務希望については、その後も地域に開かれた学校づくりを推進する学校への勤務を希望する傾向が高い。
- ・ CS導入後、学校の経営力が高まったと答えた校長の割合は80%。(とても高まった42%・やや高まった38%)
- ・ CS委員の多くは、自身が委員になる以前と比べて児童・生徒、学校、地域がそれぞれ良い方向に変化したと認識している。

行政説明 市教委学校教育課 金田 操 指導主事

国のコミュニティ・スクールのパンフレットをもとに説明

(以下、主な伝達内容)

- 魅力ある学校づくり地域協議会の設置からこれまでの経緯
- コミュニティ・スクール＝学校運営協議会制度を導入した学校
- 平成29年3月に法律改正⇒学校運営協議会の設置が努力義務化
- コミュニティ・スクールの主な3つの機能とそのポイント
- 本市魅力協と国のコミュニティ・スクールの機能の比較
- 他自治体や本県の取組状況

※ 国のコミュニティ・スクールのパンフレットについては、PDF版データを各学校に送付いたします。



グループ別情報交換会

- 後半は18のグループに分かれ、「①学校から学校運営に関する情報提供を受け、学校に意見を述べる」状況、「②学校と地域が重点的に協議しているテーマ」について、それぞれ効果的な取組例、更なる充実に向けた方策などについて情報交換しました。
- 情報交換会の最後には、時間の都合上、2グループから話し合った内容を発表していただき、全体で共有しました。当日発表できなかった他のグループの意見のうち主なものを紹介させていただきます。



① 学校から学校運営に関する情報提供を受け、学校に意見を述べる状況	② 学校と地域が重点的に協議しているテーマ
<ul style="list-style-type: none"> • 必ず全委員に意見を述べていただく時間を設けている。 • 委員からの質問に答える形で場を設定している。(学校側からは児童指導・学習指導・養護教諭等が参加) • 昔より、いろいろな意見を言いやすい雰囲気がある。 • 学校と地域、互いの目指す方向を一致させるスタンスでの議論の積み重ねが大切。 • 地域の意見をより活かすためには、マネジメント評価において、学校側からポイントを絞った説明が必要。 • 年度当初の運営方針については、意見を述べにくい状況。一斉に行うとさらに意見を言いにくい。グループなど小集団で実施し、意見を引き出してほしい。 • 魅力協(年3回)＋学校園(年1回)で無理なく実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> • キャリア教育について(地元出身の卒業生で活躍中の方を広報誌で紹介したり、地区内の官公署の職員から原稿を寄せてもらったりしている。) • 子ども、教員、地域がふれあう場の確保について • 地域の方にいかに学校に興味をもってもらえるかについて(カラー刷りの便りや地域学校園内カレンダーを活用している。) • 小中合同(学校園)のあいさつ運動について • 今年度の学校経営のキーワードへの協力について 【その他】 • 1回で周知できるような特効薬はない。あらゆる機会を捉えて周知啓発していく必要がある。 • 小学校は地域が助ける、中学校は地域を助けるイメージを共有して取り組んではどうか。

★ 参加者の皆さんには、貴重なご意見を出していただき、大変ありがとうございました。紙面の都合上、全ての意見を紹介することはできませんでしたが、紹介させていただいた意見等を参考に、今後、各地域協議会での活動に活かしていただければ幸いです。

次回研修会のお知らせ(地域協議会関係者研修会)

日時：平成30年2月28日(水) 14時～16時 場所：宇都宮市役所16階 中会議室

内容：事例発表(瑞穂野南小地域協議会・若松原中地域協議会)及び情報交換会